

伊勢湾台風の被害状況

昭和34年12月15日 伊勢湾台風による応急対策と措置資料より

暴風と高潮が、瞬間に海岸地域に未曾有の大被害を生んだ。海岸地帯約13.72km²に及ぶ冠水地域は、人命の損傷、家屋の倒壊・流失がはなはだしく、各地の護岸堤防は損壊あるいは流失し、旧半田の東部一帯は台風後10余日も浸水受難が続いた。

被害状況

被害総数	9,511戸
	9,560世帯
	43,723人

人的被害	死亡	291人
	重傷	92人
	軽傷	572人

家屋被害	全壊	938戸
	流失	511戸
	半壊	1,963戸
	床上浸水	1,918戸
	床下浸水	4,181戸
	非住家	600戸

被害総額	11,219,555千円	
公共施設	876,629千円	
〔	教育関係	30,287千円
	土木・農水産関係	800,671千円
	その他	45,671千円
公営企業施設	59,248千円	
住家屋材	3,043,150千円	
農水産業	273,899千円	
商工業その他	6,090,000千円	

被害状況写真



海岸堤防破壊のため、長期間浸水した新栄町方面 堤防が決壊した康衛町方面
(台風時には、水深3メートルを超え、二階まで浸水)



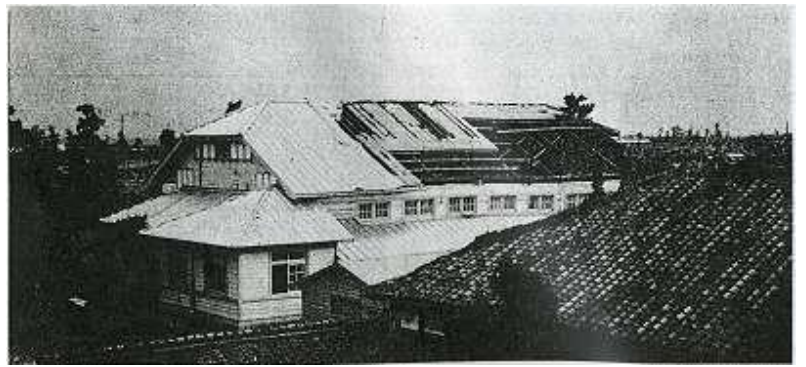
康衛町



日ノ出町



乙川向田町付近



屋根がなくなった半田中学校講堂

復旧の様子



1か月以上続けられた炊出し



青年団の土のう作り



P T Aによる被害校舎修理



婦人会の救援物資整理